

**全国有力100社  
アンケート調査**

**「やや弱気」が45%でトップ 「弱気」は18%、  
弱基調6割超える**

**10月の鉄スクラップ相場動向**

弊紙実施の100社アンケート「10月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「やや弱気」が45%でトップとなった。また「弱気」は18%で、両方を合わせた弱基調の回答は63%と6割を超えた。「横ばい」は27%だった。なお「やや強気」は9%、「強気」は1%と、強基調の回答は10%にとどまった。

**◆業種別～商社・シッパーは8割が弱基調**

業種別集計では、電炉メーカーは「やや弱気」が46%、「弱気」が27%と、弱基調の回答が7割を超えた。なお、「やや強気」が9%あった。商社・シッパーは「弱気」が20%、「やや弱気」が60%と、弱基調の回答が80%を占めた。市中業者は「やや弱気」が41%、「横ばい」が32%、「弱気」が17%、「やや強気」が9%、「強気」が1%と、回答が比較的分散した。

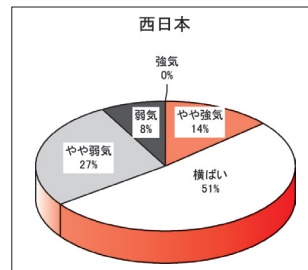
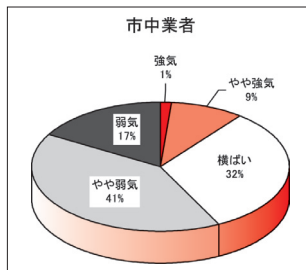
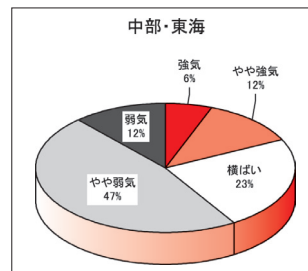
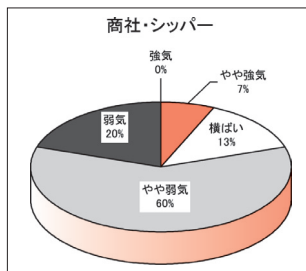
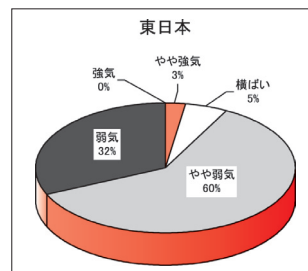
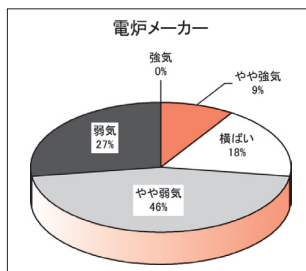
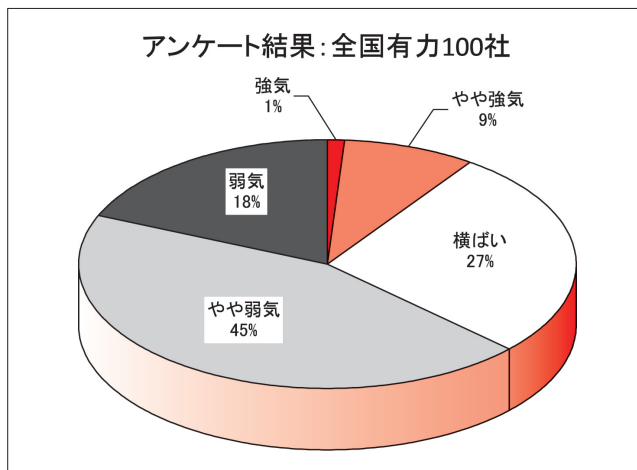
**◆地域別～西は横ばい過半数、東は弱基調9割**

地域別に見ると、東に寄るにつれて弱基調の回答が多い結果になった。西日本では、トップが「横ばい」の51%、「やや弱気」(27%)と「弱気」(8%)を合わせた弱基調の回答が35%となった。これに対し、中部・東海では「横ばい」が23%、弱基調の回答が59%(やや弱気・47%、弱気・12%)。さらに東日本では「横ばい」が5%、弱基調が92%(やや弱気・60%、弱気・32%)という結果だった。

**<個別コメント(一部)>**

▼米屑のトルコ向け、東アジア向けが値下げされ、また、韓国も大量の原料在庫を抱え、積極的に購入するポジションではない。▼海外相場は急落している。輸出価格の下落に伴い、国内相場も10月は大きく下落すると思われる。▼輸入銑鉄を購入しているメーカーも聞こえ始め、海外市況も弱いため(やや弱気)。▼9月末からの海外相場下落の影響で前半は弱含みとなるが、月後半からは各社生産増により国内相場は下支えされると想定。▼粗鋼生産がほぼ多く(10月)になっているが、海外市況がかなり悪いため、各メーカーは裏値対

応で行くのでは。▼九州は他地区と比較して高い相場となっている。輸出、特に韓国向け商談が停滞していると聞かため。



**Innovation for further growth**  
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19  
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1  
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120  
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

**【全国有力100社アンケート調査概要】**

■回答方法:10月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答  
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:9月25日～10月6日 ■回答率:92.0%(東日本95.0%、中部・東海85.0%、西日本92.5%)